

配当金のお支払いについて

支払期間経過後の配当金のお受け取り方法に関するお問い合わせは、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。まだお受け取りいただけない配当金につきましては、支払開始日から3年以内であればお支払いいたします。

株式に関するお手続きについて

株式に関するお手続きは、①証券会社の口座に記録されている場合と、②特別口座に記録されている場合で異なりますので、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。

① 証券会社の口座に記録された株式	
お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> ● 単元未満株式の買取・買増請求 ● 届出住所・姓名などのご変更 ● 配当金の受領方法・振込先のご変更 	<p>口座を開設されている証券会社</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● 郵送物の発送と返戻に関するご照会 ● 支払期間経過後の配当金に関するご照会 ● 株式事務に関する一般的なお問い合わせ 	<p>株主名簿 管理人</p> <p>三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (フリーダイヤル)</p>

単元未満株式の買取・買増請求について

当社の株式は1単元が100株となっており、単元未満株式（1～99株）については、市場での売買はできませんが、当社に対して買取請求（売却）または100株（1単元）となるよう買増請求（購入）をすることができます。お手続きの方法及び用紙のご請求は下記のお問い合わせ先にお申し出ください。

② 特別口座に記録された株式	
お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> ● 単元未満株式の買取・買増請求 ● 特別口座から証券口座への振替請求 ● 届出住所・姓名などのご変更 ● 配当金の受領方法・振込先のご変更 	<p>特別口座の 口座管理機関</p> <p>三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (フリーダイヤル)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● 郵送物の発送と返戻に関するご照会 ● 支払期間経過後の配当金に関するご照会 ● 株式事務に関する一般的なお問い合わせ 	<p>株主名簿 管理人</p>

当社ホームページのご案内

最新の製品情報、IR情報、CSR・環境活動への取り組みなどをご覧いただけます。スマートフォンにも対応し、より便利になりました。



HIOKI 検索



Facebook (SNS) [Hioki Japan] 開設のお知らせ

Facebook ページを新しく開設しました。ホームページに載せきれない情報やトピックスなどをお届けします。



Hioki Japan facebook 検索



株主の皆様へ

第68期 年次報告書

2019年1月1日 ※ 2019年12月31日

HIOKI

HIOKI
日置電機株式会社

本社 / 〒386-1192 長野県上田市小泉81
TEL 0268-28-0555 FAX 0268-28-0559

UD
FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

VEGETABLE
OIL INK

日置電機株式会社

証券コード:6866

目次	
株主の皆様へ	P1
ONE HIOKI	P3
事業領域	P5
トピックス	P6
連結財務諸表	P7
株主の皆様の声	P8
会社概要 / 役員	P9
株式の状況	P10

To Our Shareholders

株主の皆様へ



代表取締役社長
細谷 和俊
Kazutoshi Hosoya

『Revolution (変革)』を推進し、 新たな価値を提案します。

1. 決算概要

減収減益となりました

当期は、米中貿易摩擦の長期化による影響の拡大などにより世界経済が停滞し、不透明な状態が継続しました。また日本経済もその影響を受け、輸出の低迷や設備投資の抑制、為替の円高進行など、低迷した状態が続きました。

こうした厳しい経営環境の中、当社の主要顧客である自動車市場では、自動車の電動化や電子化にともなう研究開発や安全面での品質確保、生産効率向上に向けた投資は着実に進み、当社の大電流化に対応した電流センサーや、バッテリーの開発・生産用途の測定器などが、売上に寄与しました。また、インフラの整備に向けた投資が継続し、配線のはさみやすさを追求した新タイプのクランプ電流計などがご好評を得て、現場測定器の売上が牽引しました。しかし、電子部品市場における設備投資抑制が当社の電子

測定器・自動試験装置の売上に大きく影響し、修正計画を下回り、減収減益となりました。

開発面では、当期は22機種の新製品を市場に投入しました。中でも、成長市場に向けて開発したリチウムイオンバッテリーの電極抵抗測定システム、自動車の電子化に対応した非接触CANセンサーといった世界初、業界初の計測器は、市場からもご好評をいただいております。

販売・サービス体制においては、インドの子会社が販売会社としてフル稼働を開始しました。また、市場の変化に合わせグローバル市場を捉えた新しい販売体制への転換を図るなど、次の成長に向けての整備を進めました。

2. 通期業績予想と取り組み

中期重点方針『Revolution (変革)』を推進します

2020年は、昨年12月に中国で発生した新型コロナウイルスの感染が拡大しており、新たな世界経済リスクとの見方も報じられるなど、足元の環境は厳しく、先行きは一層不透明な状況にあります。一方で、産業界における技術の進歩は着実に進んでおり、社会は持続可能な地球環境づくりに向けて急速に変化しています。2018年からの中期重点方針『Revolution (変革)』の最終年にあたり、当社はこうした変化をチャンスと捉え、お客様のビジネスの進化をさらに加速させるような、世の中にない計測ソリューションを世界市場に向けて提案していきます。

海外市場においては、米国の販売子会社が2020年2月に本社をテキサス州に移転し、ユーザーにより密着した営業体制となります。北米から南米をカバーできる利便性を生かし、米国市場の販売網拡大を加速してまいります。これらの取り組みにより、通期計画の達成を目指します。

3. 配当について

業績回復による利益向上を目指します

当社は、1株当たり年間20円の配当を安定的利益還元の基本とした上で、連結配当性向40%を目途として、業績向上による一層の利益還元を実施することを基本方針として

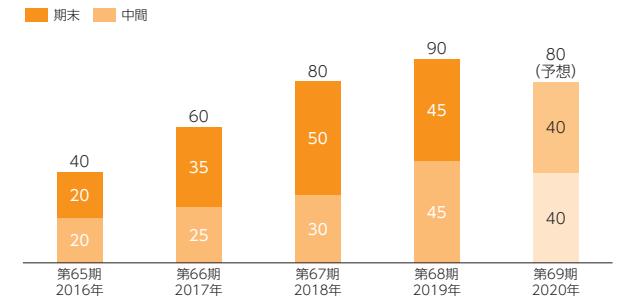
しております。当期は、業績低迷により前期に比べ1株当たり利益が大きく減少しましたが、1株当たりの年間配当金は、当初予想を据え置き90円とし、前期比10円の増配とさせていただきます。

今後も株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つとして認識し、安定的かつ継続的な配当に向けて業績の回復、向上に取り組んでまいります。

2020年12月期連結業績予想

売上高	23,800 百万円	前期比	4.3%増
営業利益	3,340 百万円	前期比	17.0%増
経常利益	3,460 百万円	前期比	16.6%増
親会社株主に帰属する当期純利益	2,600 百万円	前期比	18.3%増

1株当たりの配当金の推移 (単位:円)



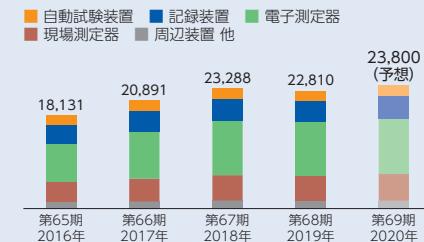
決算ハイライト

※本年次報告書中に記載の金額及び株式数は、表示単位未満は切捨て、比率は四捨五入して表示しております。

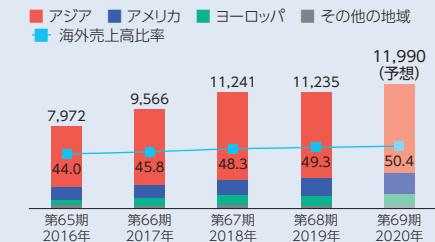
● 売上高

22,810 百万円 (前期比 2.1%減)

製品別売上高



海外売上高



● 経常利益/親会社株主に帰属する当期純利益

2,967 百万円 (前期比 12.8%減)

2,197 百万円 (前期比 20.8%減)



ONE HIOKI

グローバルセールスネットワーク

「世界中のお客様に高付加価値製品をお届けする」ことが私たちのミッションです。長野県上田市の本社を中心に国内営業12拠点と海外8か所に展開する販売会社やその拠点を中心に、現地代理店との連携を深めながら、全世界に販売網を構築しています。

と海外8か所に展開する販売会社やその拠点を中心に、現地代理店との連携を深めながら、全世界に販売網を構築しています。



HIOKI EUROPE GmbH



HIOKI KOREA CO.,LTD.



日置電機株式会社



日置（上海）商貿有限公司



HIOKI USA CORPORATION

NEW 2020年2月
北米・南米の顧客密着を高めるため、テキサス州プレイノに移転しました。

- 販売、サービス会社
- 駐在員事務所
- 販売会社主要拠点



HIOKI INDIA PRIVATE LIMITED

NEW 2019年4月
販売子会社として稼働を開始しました。また、社名をHIOKI INDIA PRIVATE LIMITEDに変更しました。



PT. HIOKI ELECTRIC INSTRUMENT



HIOKI SINGAPORE PTE. LTD.

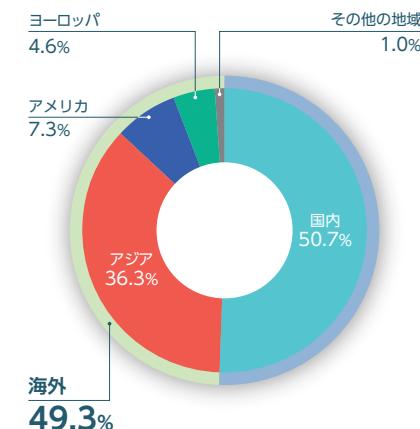


台湾日置電機股份有限公司

連結海外売上高

11,235百万円

地域別売上高構成比



地域別市場状況と今後の取り組み

日本

売上高 11,574 百万円

- 横浜支店を開設しました。また地域別営業の他に、業種別営業・専門営業の体制を整えました。より戦略的な販売活動を推進していきます。
- 米中貿易摩擦の影響で、電子部品市場は低迷しましたが、自動車、インフラ、バッテリー市場が堅調に推移し、今後も続く見込みです。この市場に投入した新製品による売上増が期待されます。



アジア

売上高 8,276 百万円

- インドの子会社に製品販売機能を持たせ、本格的な販売活動を始めました。
- 米中貿易摩擦を背景に、中国の国内シフト、韓国・台湾での電子部品市場の低迷など各地に影響がありましたが、自動車、バッテリー市場への投資は継続しており、この分野へ拡販していきます。



アメリカ

売上高 1,667 百万円

- 本社をテキサス州に移転しました。利便性を生かし、成長市場における顧客密着営業を加速させます。
- 自然エネルギー、電気自動車、自動運転、バッテリーなどの市場が拡大しています。電力計、現場測定器などの拡販を進めていきます。



ヨーロッパ

売上高 1,053 百万円

- 販売子会社設立から3年目、さらなるHIOKIブランドの浸透と販売網の構築を推進します。
- 電動化が進む自動車市場に向け、高精度電力計、電流センサーおよびバッテリーテストの拡販を進めていきます。



Business Outline

事業領域

4つの製品群で研究開発から保守サービスまで対応しています

自動試験装置

電子回路基板や部品内蔵基板の検査にスマートフォンや自動車などに使われている電子回路基板の良否を検査

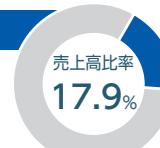


売上高19.1億円



記録装置

電気機器の開発や設備の異常監視にあらゆる機器やシステムの制御が適正に動作しているかを電気信号の波形から解析



売上高40.8億円



電子測定器

電子部品・バッテリーの検査や省エネ、電源の品質評価に

モーター・インバーターの効率評価やコイル・コンデンサの周波数特性評価



売上高103.7億円



現場測定器

電気工事・設備の保守点検に

受配電設備などの現場で、設備の保守管理のための電圧・電流や絶縁抵抗の測定



売上高49.9億円



私たちが安全で快適な生活が送れるよう、あらゆる分野で活躍しています

電子部品分野

- 電子機器の高性能化にともない高周波化が進む抵抗器、コンデンサー、コイルなどの電子部品の性能評価、出荷検査

自動車分野

- ハイブリッドカーや電気自動車のモーター、インバーター、バッテリーなどの開発・性能評価

インフラ分野

- 電気、ガス、交通などのインフラの保守点検

環境・新エネルギー分野

- 電気機器や設備の電力使用状況を把握し、省エネ推進
- 太陽光や風力発電などの新エネルギーの品質・効率評価、設備の保守点検



Topics

トピックス

01 TOPICS

自動車業界の常識を変える新コンセプト製品、非接触CANセンサSP7001、SP7002を発売

12月に当社初となる、非接触CANセンサSP7001、SP7002を発売しました。この製品は、車載通信CAN/CAN FD信号を通信線の被覆上から検出できる金属非接触型の画期的なセンサーです。これまでの自動車開発や試験における煩雑さを解消し、開発や評価の工数を削減できます。今後の自動運転機能や、ハイブリッドカー・電気自動車など新型自動車の開発を強力にサポートします。



非接触CANセンサSP7001

02 TOPICS

「ジャパンマニュアルアワード2019」で「産業部門 優秀賞」を受賞



9月に開催された「ジャパンマニュアルアワード2019」*において、電流プローブCT6710、CT6711取扱説明書が「産業部門 優秀賞」を受賞しました。今回受賞した取扱説明書は、必要な情報を適切な順序で記載した点や、視覚的に情報をわかりやすく伝える工夫をした点が評価されました。今後もユーザーにわかりやすく、そして安全に正しく製品をご使用いただける取扱説明書の制作に努めてまいります。



受賞した取扱説明書

*「ジャパンマニュアルアワード」(主催:一般財団法人テクニカルコミュニケーター協会)は、マニュアルの品質向上などを目的に、わかりやすく優れたマニュアルや取扱説明書を表彰しています。

03 TOPICS

家族の働く姿を実感、社員家族の会社見学会を開催

8月に社員の家族を対象にした会社見学会を開催しました。見学会では社長から「社員の皆さんが元気で働くためには家族の協力が大切です。支えてくださるご家族に感謝します」とメッセージが送られました。その後、職場や社内外の施設を見学、昼食は社員が家族とともにテーブルを囲み和やかなひとときを過ごしました。家族の皆さんに会社や仕事への理解を深めていただくとともに、社員自身のモチベーションアップにもつながりました。



社員家族会社見学会参加の皆さん

Consolidated Financial Statements

連結財務諸表

連結貸借対照表 (要約)

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当連結会計年度 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産	15,140	15,882
固定資産	12,225	12,081
有形固定資産	10,650	10,642
無形固定資産	562	408
投資その他の資産	1,012	1,030
資産合計	27,365	27,963
負債の部		
流動負債	2,299	1,963
固定負債	850	878
負債合計	3,149	2,841
純資産の部		
株主資本	24,078	24,979
その他の包括利益累計額	138	142
純資産合計	24,216	25,122
負債純資産合計	27,365	27,963

資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末における総資産は、現金及び預金、建物及び構築物が増加したため、前連結会計年度末と比較して5億97百万円増加し、279億63百万円になりました。

負債は、未払法人税等及び未払金が減少したため、前連結会計年度末と比較して3億8百万円減少し、28億41百万円になりました。

純資産は、利益剰余金が増加したため、前連結会計年度末と比較して9億5百万円増加し、251億22百万円になりました。

連結損益計算書 (要約)

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2018年1月1日から 2018年12月31日まで)	当連結会計年度 (2019年1月1日から 2019年12月31日まで)
売上高	23,288	22,810
売上原価	12,924	12,744
売上総利益	10,363	10,065
販売費及び一般管理費	7,049	7,211
営業利益	3,314	2,853
経常利益	3,403	2,967
税金等調整前当期純利益	3,601	2,975
親会社株主に帰属する当期純利益	2,774	2,197

連結キャッシュ・フロー計算書 (要約)

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2018年1月1日から 2018年12月31日まで)	当連結会計年度 (2019年1月1日から 2019年12月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,845	3,282
投資活動によるキャッシュ・フロー	△121	△1,199
財務活動によるキャッシュ・フロー	△884	△1,293
現金及び現金同等物に係る換算差額	△103	△70
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,735	719
現金及び現金同等物の期首残高	5,768	8,504
現金及び現金同等物の期末残高	8,504	9,223

キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比較して7億19百万円増加し、92億23百万円になりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、32億82百万円の収入になりました。主な増加要因は、税金等調整前当期純利益29億75百万円及び減価償却費12億31百万円です。主な減少要因は、法人税等の支払額9億9百万円です。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出等により、11億99百万円の支出になりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額等により、12億93百万円の支出になりました。

Voice

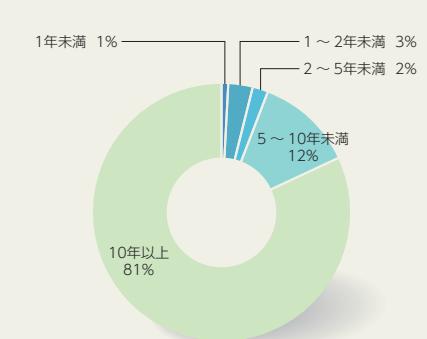
株主の皆様の声

株主の皆様とのより良いコミュニケーションを図るため、第68期中間報告書で「株主アンケート」を実施し、多くの株主の皆様からご回答をいただきました。お忙しい中、ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。今回は、その結果の一部をご紹介します。

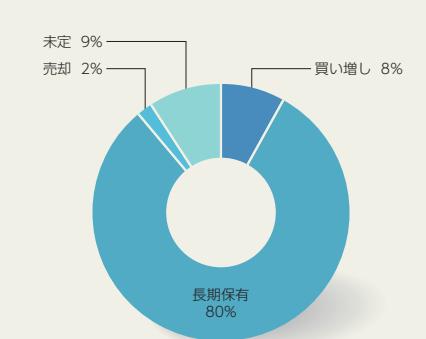
なお、皆様からいただきました貴重なご意見、叱咤激励は今後の活動に生かし、企業価値の向上に努めてまいります。引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

アンケート結果

Q 株式投資を始めてどのくらいになりましたか。



Q 当社の株式に対してどのような方針をお持ちですか。



Q 当社に魅力を感じている点は何ですか (3つまで)。



株主の皆様からいただいたお声

中間報告書に掲載されていた「働き方改革」で定年制度シニアスタッフの活躍を導入され社員にとって有難い環境だと拍手で我がことのように嬉しいです。
(女性、70代)

決算報告がとても速く事務能力の高さと経営姿勢が見えて好感が持てます。
(男性、60代)

株主優待のリングがきっかけで買いました。優待は廃止されましたが、保有を続ける中で御社の事業の将来性を感じて現在も保有を継続しています。自動車関係部品など今後の成長が見込める分野への投資を続けて株主還元率を高めていただきたいと思います。
(男性、30代)

当社の取り組みに共感いただきありがとうございます。企業が成長する原動力は社員です。「人間性の尊重」の企業理念のもと「生涯現役」を実現するために、知識やスキルを持ったベテラン社員が、生き生きと健康で働ける環境づくりをこれからも進めてまいります。

当社の決算業務をご評価くださり、ありがとうございます。決算を早期に確定することにより、株主の皆様への結果報告を早く実施でき、また次の期の計画達成に向けての業務に早くから意識を集中できると考え、以前から迅速な決算業務に尽力してまいりました。今後も管理体制を整え、皆様のご期待に沿えるよう精進してまいります。

平素よりご支援賜りましてありがとうございます。株主の皆様に対する公平な利益還元の方という観点に立ち返り、2017年度分(2017年6月30日基準日)から株主優待制度を廃止し、配当金による利益還元を充実させていくこととなりました。今後も安定的かつ継続的な配当に向けて業績の向上に取り組んでまいります。

Corporate Profile

会社概要/役員 (2020年2月27日現在)

会社概要

商号	日置電機株式会社
英文商号	HIOKI E. E. CORPORATION
創業	1935年(昭和10年)6月
設立	1952年(昭和27年)1月
商標	HIOKI
資本金	32億9,946万円
社員数	941名(2019年12月31日現在、HIOKIグループ全体)
事業内容	電気計測器の開発、生産、販売・サービス
本社・工場	長野県上田市小泉81
グループ会社	日置フォレストプラザ(株) HIOKI USA CORPORATION 日置(上海)商貿有限公司 HIOKI SINGAPORE PTE. LTD. HIOKI KOREA CO.,LTD. HIOKI INDIA PRIVATE LIMITED HIOKI EUROPE GmbH 台湾日置電機股份有限公司 PT. HIOKI ELECTRIC INSTRUMENT

役員

取締役	
代表取締役社長	細谷 和 俊
取締役	岡澤 尊 宏
取締役	巢山 芳 計
取締役	水野 厚
取締役	久保田 訓 久
社外取締役	中谷 朔 三
社外取締役	田中 茂

監査役

常勤監査役	竹内 繁 弘
常勤監査役	高木 正 行
社外監査役	小川 直 樹
社外監査役	弓場 法

令和元年台風19号関連のご報告

このたびの令和元年台風19号により被災された皆様に、謹んでお見舞い申し上げます。本社工場がある長野県上田市でも千曲川をはじめとする河川流域で浸水等被害が出ました。当社の本社工場および国内拠点においては、人的被害および浸水はなく、建物、設備への被害もありませんでした。ご心配をいただきました皆様に御礼を申し上げます。

当社は、被災された皆様への支援にお役立ていただくために、一般社団法人長野県経営者協会を通じて、日本赤十字社に義援金1,500万円を寄付いたしました。また、HIOKIグループ社員による募金も義援金として別途日本赤十字社に寄付いたしました。

被災地の一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

なお、中間報告書でお知らせした2019年10月19日(土)開催予定の「HIOKI祭り」は、台風19号による被害の影響に鑑みて、中止いたしました。

Stock Information

株式の状況 (2019年12月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	40,514,000株
発行済株式の総数	14,024,365株
株主数	7,958名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日置電機社員持株会	815	5.99
日置恒明	800	5.87
日置勇二	719	5.28
株式会社八十二銀行	666	4.89
日置妙子	583	4.28
明治安田生命保険相互会社	510	3.75
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	486	3.57
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	448	3.29
日置秀雄	352	2.58
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	322	2.37

(注) 1. 当社は自己株式を398千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年2月
期末配当金受領株主確定日	毎年12月31日 (中間配当金を支払う場合は、毎年6月30日)
単元株式数	100株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
お問い合わせ先	〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (フリーダイヤル)
郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告方法	日本経済新聞 なお、貸借対照表及び損益計算書を当社のホームページ(https://www.hioki.co.jp/jp/ir/)に掲載しておりますので、ご参照ください。
上場市場	東京証券取引所市場第一部(証券コード: 6866)

